

代表取締役 山本 佑樹

マイキャン・テクノロジーズ株式会社 HiLung株式会社 京都市西京区御陵大原 京大桂ベンチャープラザ 京都市左京区吉田下阿達町46-29 **1** 075- 381-3008 **11** 075-354-5095 https://www.micantechnologies.com/

https://www.hilung.com/

プロフィール

呼吸器内科医師、医学博士。日本呼吸器学会呼吸器専門医、日 本再生医療学会再生医療認定医。難治性呼吸器疾患の医療 を革新したいと考え、京都大学にてiPS細胞を用いた肺再生研 究に従事。その研究成果・技術を創薬、再生医療、クリーンテック に至るまで幅広く応用し、『誰もが気持ちよく呼吸できる未来』を 目指し、2020年7月にHiLung株式会社を設立。

プロフィール

東京理科大学大学院卒。約20年製薬会社で 再生医療技術等を活用した新薬の研究開発に 携わる。インド出向時、多くの感染症が未解決課題 であることを知り、帰国後、再生医療技術を用い た感染症の課題解決を志す。2016年マイキャン・ テクノロジーズを設立し、大学発技術を基にした 研究用血球細胞の開発に着手。ウイルス感染症 の脅威に怯えず暮らせる社会の実現を目指す。



道に進まれたのですか お二人はどのように 細胞

山本社長(以下、山本)もともと呼 吸器内科医だった私は2009 年の新型インフルエンザのパン 細胞技術が役立つのではと考 器疾患の治療法開発にiPS デミックを目の当たりにし、呼吸 研究の道に進みました。

させました。 宮崎社長(以下、宮崎)私の前職は医

難.

かい。

Q

後

の展望についてお聞かせくだ

研究支援を始めました。 を開発することに成功し 立ちたい」と独立。iPSを元に世界で 薬品の開発です。そこで出会ったiPS 細胞に驚き、「この技術で世の中の役に めて「未成熟樹状細胞(Mylc細胞) 感染症の

病の

」を作る が変わるのと同じです。生体に近い状 作業です。料理だと混ぜ方ひとつで味

態を再現するために、 価キットができたのです。 とで有効性の高い呼吸器感染症の評 を共有し、さまざまな工程を試すこ 知識とノウハウ

かした細胞を有しているのが強みです 番難しかったことは何ですか? 本・宮崎 それぞれ独自の技術を活

細胞を組み合わせることは繊細な

今回のコラボレーションにあたり、

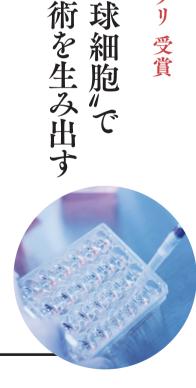
₩ ビジネスプランの詳細はこちら https://www.kyo.or.jp/chie/contest/gp/117437.html



することが重要になります。2社の らこそ、他社の技術とコラボレーション アップ企業にとって、 えていくことが目標です。 度の高い治療へと 究を進めるのは難しいことです。だか 山本·宮崎 が組み合わさった、京都発の新 。新型コロナをはじめさまざまな 研究支援や診断 我 クタの 、着実に未来を変 自社で複数の ようなスタ そしてより 知

京商からの支援

アジア最大級のパートナリングイベント「BioJapan2022」にご出展されました! 同イベントでのマッチングシステムを利用した商談を通じて、市場・潜在顧客のニーズ調査を実施したそうです。 有効性の高い呼吸器感染症評価キットの広がりで、今後の医療業界が発展していくことを期待しています。



・創薬を支える新技

肺細胞

球

第2回

コラボレーション部門 グランプリ 受賞